

「.日本」なんてイラネ、と言う前に 知っておくべき話

石田慶樹 (日本インターネットエクスチェンジ株式会社)

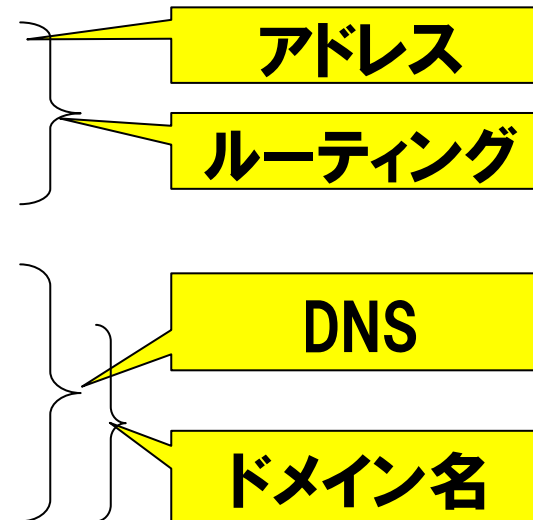
田中邦裕 (さくらインターネット株式会社)

本日の内容

- 国際化ドメイン名 IDN
- それで、「.日本」ってどうなるのか？

2010年～2011年はインターネット激動の年

- IPv4アドレスの枯渇
- 4 Octet AS番号の常態化
- DNSSECの導入
- IDN ccTLDの誕生
- gTLDの追加



2010～11年 インターネット5重苦

暗号危殆化も入れると6重苦

これはどれのことを言ってるのか？

自分は利用しないし利用する気がない。



導入することで何かよくないことが起きる気がする。



だからイラネ

- IDN ccTLD
- DNSSEC
- 選択的夫婦別姓

基本的な考え方

- **適正な手続きが決まっており、その手続きに則ったものであれば止めることはできない**
 - **すくなくとも途中で意見表明の機会は少なからず用意されていた**
 - **現在でも意見表明は可能**
 - **もちろんICANN（例えば）の手続きが十分こなれているかどうかは議論の余地はあります**
 - **究極にはマルチステークホルダにおける意思決定問題**

国際化ドメイン名 IDN

(Internationalized Domain Names)

IDNへの世界的な要求の高まり

- インターネットが世界に広がっていく中でグローバル化と同時に国際化もまた進められてきた。
- 国際化とは文化的多様性の視点から
 - グローバル化によって文化の多様性が消失するという危機感
 - UNESCOによると6000ある言語のうち2500が消滅の危機
 - 多言語化に関してUNESCOとICANNが協力

UNESCO and ICANN sign partnership agreement to promote linguistic diversity on Internet - Mozilla Firefox

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 履歴(S) ブックマーク(B) ツール(T) ヘルプ(H)

http://portal.unesco.org/ci/en/ev.php-URL_ID=29372&URL_DO=DO_TOPIC&URL_SECTION=201.html

Google UNESCO 言語 消滅 検索 サイドウィキ ブックマーク チェック Yoshik...

UNESCO and ICANN sign partners...

UNESCO.ORG | Education | Natural Sciences | Social & Human Sciences | Culture | Communication & Information

Communication and Information Text only | Sitemap

United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization

WebWorld Communication and Information Resources Français

Resources > News Service > News Archives 2009 > UNESCO and ICANN sign partnership agreement to promote linguistic diversity on Internet

Home page Resources News Service News Archives 2010 2009 2008 2007 2006 2005 2004 2003 2002 2001

News
Communication and Information Sector's news service

Advanced Search

UNESCO and ICANN sign partnership agreement to promote linguistic diversity on Internet

10-12-2009 (Paris)

A significant step was taken on 10 December 2009 towards greater linguistic diversity on the Internet when UNESCO signed an agreement with ICANN - the body that assigns online addresses to Internet users - to help put into operation the first multilingual domain names.

The cooperation agreement follows the recent decision by the Internet Corporation for Assigned Names and Numbers (ICANN) to introduce IDNs, or Internationalized Domain Names, in non-Latin script. Until now, domain names in Internet addresses (for example .org, .com) were written using characters from the Latin alphabet exclusively. On November 16, in the first phase of the plan,



Rod Beckstrom and Irina Bokova
© UNESCO/Patrick Lagès

Contact information

Contact

- Roni Amelan, UNESCO, Bureau of Public Information

Source

- UNESCO Press Release No. 2009-150

Related Links

- UNESCO News Service
- Internet Corporation for Assigned Names and Numbers (ICANN)

Related news

- 06-06-2008 (Paris) UNESCO encourages Governments to participate in the next meeting of ICANN



Database of African Journalism Schools

2009年12月10日

IDNへの世界的な要求の高まり

- **国際化の進展**
 - これまでは主にコンテンツの部分で。メールの本文、Webページの中身。
 - 残るは識別子（アドレス）分野。
- 「メールアドレスやURLは、別にASCII文字でいいじゃん？」というのは世界共通認識ではない。
- 言語体系としてASCII文字と混在することが非常に困難な文化圏も存在
 - 例えば横書きにおける表記の方向とか
- ASCII文字が日常生活にない世界では、ASCII文字しか使えないURLやメールアドレスが、インターネット利用の障壁となっている
 - デジタルデバイドの一種
 - 他言語を学習していない子供や年長者への普及の妨げ

IDNへの世界的な要求の高まり

- **日本は特殊な文化圏**
 - 日本語特有の文字と、ASCII文字が混在する文化
 - 文字自体の外国からの導入
- **自国語の文字とASCII文字が混在することが困難な国々**
 - こういう国で、IDNやEAIへのニーズが高まった
- **そもそも英語への反発のある国も存在**

IDNの経緯

- IDNの仕様検討はCJKの技術者を中心に進められた
 - 中国、日本、韓国、台湾のccTLDで共同技術チーム (JET)
 - 各国の国内のニーズのすり合わせ
 - よりよい国際標準を作るための貢献
- IDNが現実味を帯びてきたことで、他の言語文化圏 (アラビア語圏や ASCII以外の文字を用いるヨーロッパ諸国)からの期待が高まった。
- 2000年秋:gTLDでIDN登録が開始。言語や文字の扱いが明確でなく、また知的財産権などへの配慮もなく、混乱。
- 2001年以降:言語の区別、文字テーブルの定義などを行いながらccTLDでのIDN導入が進む。
- 2003年:IDNに関する一連の仕様がRFCに。
 - IDNのDNS運用がRFC準拠に。
 - 議論は技術から施策へ

IDNの経緯

- ICANNにおける議論
 - 2003年、IDNのRFC化で、ICANNは各TLDの配下でIDNの登録を承認。
 - 次の議論は「TLDもIDNにすること」
 - ドメイン名全体がIDNにならないと困る人々がいる
 - TLDは、ccTLDとgTLDの2種類
 - gTLDへの導入はICANNの判断。
 - ccTLDへの導入は各国の判断。
 - ICANNは2009年11月から受付開始。
 - 申請にあたり、各国政府の同意が必要。

TLDへのIDNの導入

- TLDへのIDNの導入のための準備
 - 実験的にIDN化されたTLDを用意
 - <http://例え.テスト/>
 - <http://مثال.إختبار/>
 - 2009年IDN ccTLDのファストトラック開始

メインページ - IDNwiki - Mozilla Firefox

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 履歴(S) ブックマーク(B) ツール(T) ヘルプ(H)

http://例え.テスト/メインページ

Google テスト IDN 検索

メインページ - IDNwiki ログインまたはアカウント作成

メインページ

Can't see the font?

目次 [非表示]

- 1 ドメイン名例テストの評価へようこそ！
- 2 皆様の参加は重要です
- 3 テストしていただきたい項目
- 4 追加情報

ドメイン名例テストの評価へようこそ！

新しいIDNトップレベル・ドメインの評価エリアのひとつにようこそ。11の異なる言語にてドメイン名例テストを表現するテスト用のIDNは全てICANNのIDNwikiに向けられています。すなわち、IDNをブラウザに入力することにより、またはIDNのリンクをクリックすることにより、このIDNwiki評価エリアにアクセスできます。日本語のエリアへのアクセス、おめでとうございます！

この説明へのリンクにアクセスできる方法はいくつかあり、このエリアに至るまでの経路もいくつかあります。このページにアクセスするのに利用されているブラウザがIDN完全対応である必要はありません。また、テストに参加されるためにもその必要はありません。たとえば、自分の利用環境の能力を下記のリンクを通してテストできます。各リンクはこのページに戻ります。もう1つのテストは、IDNをブラウザのアドレスバーに直接入力したり、切り貼りしたりすることです。IDN完全対応であるブラウザのみがその方法でこのページにアクセスすることが出来ます。

通常のIDN	どのブラウザ上でもクリックできるもの	手入力もしくは切り貼り用、IDN完全対応を必要とします
http://日本語.idn.icann.org	http://例え.テスト	http://例え.テスト

上記のIDNに加えてこのページには英文字の名称<http://ja.idn.icann.org>を通してアクセス出来ます。この形態は主に日本語文字に不慣れである方、またはIDN対応ソフトウェアを利用されていない方とのコミュニケーションのために設けられています。(詳しい内容は「IDNwikiの基本原則」の説明を参照してください。)

ナビゲーション

- メインページ
- IDNwiki English gateway
- E-mail test
- Basic concepts
- Software

interaction

- 最近更新したページ
- Contact
- ヘルプ

evaluation

- العربية
- 简体中文
- 繁體中文
- Ελληνικά
- हिन्दी
- 日本語
- 한국어
- فارسی
- Русский
- বাংলা
- བོད་སྐད་

additional

محتويات [إخفاء]

- ١ مرحبا بكم في الموقع التجريبي لطاقات example.test
- ٢ مشاركتك ههنا
- ٣ أشياء يجب اختبارها
- ٤ معلومات إضافية

مرحبا بكم في الموقع التجريبي لِنطاقات example.test

مرحبًا في منطقة التّقديم لأُحد النطاقات الدولية العليا الجديدة (IDN). أسماء النطاقات الدولية التجريبية، والتي يمثلها الاسم example.test في إحدى عشرة لغة مختلفة، كلها موجهة لموقع الـ IDNwiki التابع لهيئة الإنترنت المعنية بالأسماء والأرقام المخصصة (ICANN). بحيث لو قُمت بكتابة اسم النطاق الدولي في المستعرض لديك أو في حال النقر فوق رابط لأحد أسماء النطاقات الدولية سيُمنحك إلى منطقة التقديم هذه (IDNwiki). فها نحنا على وصولك إلى منطقة التقديم الخاصة باللغة العربية!

هناك عدد من الطرق التي يمكن بها الوصول إلى هذا المقال، ولذا فمن الممكن أن تكون عدة مسارات محتملة هي التي انتقلت بك إلى هنا. ليس من الضروري أن يدعم المستعرض الخاص بك أسماء النطاقات الدولية بالكامل للوصول إلى هذه الصفحة أو لأن مشاركتك على سبيل المثال، بمكانك اختبار قدرة بيئة العمل الخاصة بك مع هذه الروابط أدناه، فكل منها يوجد بك إلى هذه الصفحة. اختبار آخر وهو أن تكذب أو تنسخ وتلصق اسم النطاق الدولي مباشرة في سطر العنوان بالمستعرض. وسينتقل هذا بك إلى هذه الصفحة فقط إذا كان المستعرض لديك يدعم اسم النطاق الدولي بالكامل.

اسم النطاق الدولي التقليدي	يمكن النظر فوقه في كل المستعرضات	لكتابة أو للنسخ واللصق في عنوان المتصفح. يحتاج لدعم كامل من المتصفح للـ IDN
http://idn.icann.org	http://مثال.إختبار/	http://مثال.إختبار

بالإضافة إلى أسماء النطاقات الدولية هذه، يمكن أيضاً الوصول إلى هذه الصفحة باستخدام الاسم اللاتيني فقط <http://ar.idn.icann.org>. الهدف من هذا النموذج أساساً الاستخدام والتواصل مع المستخدمين الذي لا يتقنون النصوص العربية أو الذين ليس لديهم إمكانية الوصول إلى برامج لإدراك أسماء النطاقات الدولية. (المزيد عن هذا الموضوع وارد في المقلل الخاص عن المفاهيم الأساسية).

مَسْأَلَةُ كَيْفِ تَعْمَلُوا



إبحار

- الصفحة الرئيسية
الجواب الرئيسية (English)
اختبار البريد الإلكتروني
مفاهيم أساسية
البرامج والتطبيقات

النَّوْاصِلُ

- أحدث التغييرات
- اتصل بنا
- مساعدة

أَسْمَاءُ الْفُطُوفَاتِ الْخُرِيدَةِ

- العربية
- 简体中文
- 繁體中文
- Ελληνικά
- हिन्दी
- 日本語
- 한국어
- فارسی
- Русский
- தமிழ்
- שׂו"ת

أَسْمَاءُ نَطَاقَاتٍ تُجَرِّبِيهِ أُخْرَى

TLDへのIDNの導入

- **導入済のIDN ccTLD**

- **アラビア文字**

- United Arab Emirates: امارات. (2010年5月5日)
 - Saudi Arabia: السعودية. (2010年5月5日)
 - Egypt: مصر. (2010年5月5日)

- **キリル文字**

- Russian Federation: . р ђ (2010年5月12日)

- **漢字**

- 中国:「.中国」「.中國」(2010年6月25日)
 - 香港:「.香港」(2010年6月25日)
 - 台湾:「.台灣」「.台湾」(2010年6月25日)

TLDへのIDNの導入

- IDN ccTLDの導入によるデメリット
 - 登録商標問題（月の土地問題）
 - グローバル空間の分断化（バベルの塔問題）
 - そもそも需要があるのか（ビジネスの問題）
- IDN ccTLDを導入しなかった場合に起こり得ること
 - 強い意志を持つ国が独自に自国語化したドメイン名を導入
 - 自国内でのみから利用可能な構成

⇒Alternate Root問題再び

それで、「.日本」ってどうなるのか？

日本の状況

- **日本の状況**
 - 「.日本」は日本のccTLDとして、総務省が2008年秋から議論を開始
 - 情報通信審議会のもとでのインターネット基盤委員会
 - ここでの議論が「.日本」導入ありき、で進んだことが発端。
 - 日本はASCII文字を用いる文化であり、〇〇〇.jpで困らない。
 - 「.日本」があればうれしいという人もいるだろうが、それで困る人も いる。
 - よい形は何かを考えることが必要。
- 「.日本」が存在することと「.日本」を使うかどうかは別の議論
 - いろいろな考え方が存在する中で「.日本」の存在する意味合い
 - 「.日本」を使うかどうかはビジネス 이슈
- **イマココ**
 - インターネットドメイン名協議会が、「.日本」のレジストリを選定し ようと している。

インターネットドメイン名協議会設立経緯

2009年

7月

情報審議会 総務省
答申実施

9月

日本インターネット
ドメイン名協議会 設立

12月

選定基準作成
作業部会 設置

2010年

1月

総務省より
事業者選定依頼 受領

2月

パブリックコメント 公募

6月

選定基準 承認
公募要領 公開

< 骨子 >

- わが国のIDNccTLDの文字列として「.日本」が望ましい
- 管理運営事業者は民間協議会を設立・公募にて選定すべき

「技術検討グループ」
「経営基盤等検討グループ」に分かれ審議開始

「技術検討グループ」
石田(日本インターネットエクスチェンジ)
三膳(IIJ)
前村(JPNIC)
田中(さくらインターネット)

今後の流れ

参入については「事業者」の経済合理性に基づき判断

選定については定められた選定基準に基づき「協議会」にて判断

提案書の締め切りは8月16日の予定



Posts Comments



協議会について

- 協議会ご案内
- 役員・幹事
- 行動指針
- 会員一覧

Welcome to Japan Internet Domain Name Council

カテゴリー

- Announcement
- New gTLD
- お知らせ
- 参考資料
- 地理的名称TLD
- 概要
- 管理運営事業者公募
- 議事録

リンク

- ICANN

「.日本」管理運営事業者公募要領等に関する質問回答

「.日本」管理運営事業者公募要領等に関する質問回答です。
« Read More » 「.日本」管理運営事業者公募要領等に関する質問回答

July 6th, 2010 | Category: お知らせ, 管理運営事業者公募 | Comments are closed

選定基準及び公募要領の公表について

選定基準及び公募要領が決まりましたので、お知らせします。

本プレスリリース(pdf)

« Read More » 選定基準及び公募要領の公表について

Language

- English
- 日本語

2010年7月						
月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	
« 6月						

アーカイブ

- 2010年7月
- 2010年6月
- 2010年5月

選定基準及び公募要領の公表について - 日本インターネットドメイン名協議会 «日本インターネットドメイン名協議会 - Mozilla Firefox

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 履歴(S) ブックマーク(B) ツール(T) ヘルプ(H)

< >

http://jidnc.jp/?p=533

Google

JPDirect 検索

共有 サイドウィキ ブックマーク

チェック Yoshik...

選定基準及び公募要領の公表について...

行動指針

会員一覧

Welcome to Japan Internet Domain Name Council

カテゴリー

Announcement

New gTLD

お知らせ

参考資料

地理的名称TLD

概要

管理運営事業者公募

議事録

リンク

ICANN

選定基準及び公募要領が決まりましたので、お知らせします。

本プレスリリース(pdf)

平成22年6月4日
日本インターネットドメイン名協議会

日本インターネットドメイン名協議会においては、2月23日より3月23日まで、「.日本」管理運営事業者の選定基準(案)について意見募集を行い、14件のご意見をいただきました。誠にありがとうございました。

いただいたご意見につきましては、4月30日から当協議会ホームページに公表させていただいておりますが、ご意見をふまえ、選定基準を策定いたしましたので、提出された意見及びそれに対する考え方を含めて公表させていただきます。

また、公募要領も策定いたしましたので、同時に公表いたします。

「.日本」の管理運営事業者の申請を検討されている皆様におかれましては、添付資料をご確認いただき、申請をご検討くださるようお願いいたします。

なお、公募要領に記載のとおり、6月16日に説明会を予定しておりますので、管理運営事業者としての申請を検討中の事業者等におかれましては、お申し込みの上、ご出席くださるようお願いいたします。

また、管理運営事業者の選定を行うために、外部有識者からなる選定委員会を4月2日に立ち上げ、協議会から選定基準案についての説明を行ってきました。選定委員会から、選定基準案に対して、添付3のとおりコメントをいただいております。協議会として検討した結果、添付3の選定委員からのコメントに対する考え方に記載した内容の修正を選定基準に加えることになりました。

選定基準及び公募要領等につきましては、添付資料をご参照ください。

当件連絡先:日本インターネットドメイン名協議会 事務局
office_atmark_jidnc.jp

(迷惑メール防止・スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しています。送信の際は「@」にご変更ください。)

■本プレスリリース(pdf)

添付1 パブリックコメントにおいて提出された意見及びそれに対する考え方(pdf)

添付2 選定基準(pdf)

添付3 選定委員会からの意見及びそれに対する考え方(pdf)

添付4 公募要領一式(pdf)

2010年7月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	
« 6月						

アーカイブ

2010年7月

2010年6月

2010年5月

2010年4月

2010年3月

2010年2月

2010年1月

2009年12月

2009年11月

2009年10月

2009年9月

2009年7月

タグ

日本 ICANN ドメイン
名 地名ドメイン 日本インターネット
ドメイン名協議会 研究会 議事録 選
定基準

完了

「.日本」というビジネス

- 日本語JPドメイン名（日本語.jp）と同等とすると：
 - ドメイン数：約13万ドメイン
 - 単価：約2,000円/年
 - 年間売上：260,000,000円（月額：22,000,000円）
- 同程度の売上だとして費用としては：
 - 10万エントリ以上のDB（レジストリシステム）
 - 10万エントリ以上のWHOISサーバ
 - 10万エントリ以上のccTLD DNSの運用
 - 24時間365日対応
- 単体のビジネスとして？？？
- ビジネスモデルを変えるか、別ビジネスの一部とするか

